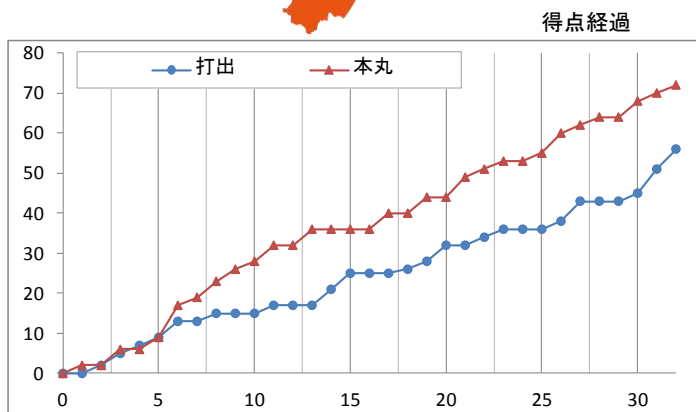




大会名	平成27年度全国中学校体育大会 第45回全国中学校バスケットボール大会																	
会場	一関市総合体育館																	
日時	2015年8月24日(月)	10:50																
コート	Cコート 第2試合																	
カテゴリー	男 決勝トーナメント1回戦																	
主審	平林 達哉																	
副審	安藤 剛																	
TEAM A	TEAM B																	
打出 (滋賀県)	56 ●	<table border="1"> <tr><td>15</td><td>1st</td><td>23</td></tr> <tr><td>10</td><td>2nd</td><td>13</td></tr> <tr><td>11</td><td>3rd</td><td>17</td></tr> <tr><td>20</td><td>4th</td><td>19</td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	15	1st	23	10	2nd	13	11	3rd	17	20	4th	19	-			72 ○ 本丸 (新潟県)
15	1st	23																
10	2nd	13																
11	3rd	17																
20	4th	19																
-																		



BOXスコア

TEAM A		打出						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	福島 大智	×	9	0	4	1	3	
5	服部 好成	×	12	0	6	0	0	
6	竹ノ内 大輔	/	2	0	1	0	1	
7	中川 潤	×	9	0	4	1	2	
8	妹背 帆高	DNP	0	0	0	0	0	
9	木戸 恒輝	DNP	0	0	0	0	0	
10	矢野 佑樹	DNP	0	0	0	0	0	
11	長谷川 義輔	DNP	0	0	0	0	0	
12	谷口 雷蔵	×	13	0	5	3	1	
13	福家 柊都	×	11	1	4	0	1	
14	河野 大督	DNP	0	0	0	0	0	
15	中平 昂輝	DNP	0	0	0	0	0	
16	川島 弥真	DNP	0	0	0	0	0	
17	大石 日向	DNP	0	0	0	0	0	
18	天野 龍太郎	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	東谷 明宏							
合計			56	1	24	5	8	

TEAM B		本丸						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	石黒 渚	×	5	1	1	0	1	
5	山岸 秀斗	×	10	1	3	1	3	
6	竹内 秀	×	12	0	6	0	1	
7	相馬 迅	×	26	2	10	0	0	
8	川村 亮汰	×	13	1	5	0	0	
9	平山 大翔	/	0	0	0	0	0	
10	伊藤 瞭佑	/	0	0	0	0	0	
11	小林 亮介	/	0	0	0	0	0	
12	長谷川 新吉朗	/	2	0	1	0	1	
13	菱倉 崇人	/	4	0	2	0	0	
14	居城 心太	DNP	0	0	0	0	0	
15	大川原 祐輝	/	0	0	0	0	0	
16	渡辺 悠樹	/	0	0	0	0	1	
17	佐藤 博亮	DNP	0	0	0	0	0	
18	佐藤 理雄	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	井上 英樹							
合計			72	5	28	1	7	

×…スターター /…出場 DNP…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

近畿ブロック1代表打出と北信越ブロック代表本丸の一戦。1Q、打出マンツーマンDef、本丸3-2のゾーンDefでスタート。互いにスピードのある攻撃を展開する中、本丸はシュートを確実に決め、得点差を少しずつ広げる。残り2分、本丸#7の連続3Pが決まり、打出タイムアウト。打出は#7のミドルシュートが決まり、11-17で終える。2Q、打出はオールコート1-1-3のゾーンDefからハーフコート2-1-2Defをしき、本丸はマンツーマンDef。本丸は#5、#8がOffリバウンドを頑張り、リバウンドから少しずつ流れをつかむ。打出は本丸のDefの変化に、開始後は攻め手を欠く。流れを変えるためマンツーマンDefにして粘り、25-36で前半を終える。

3Q、打出は#4の1対1を中心に試合を組み立てる。対する本丸は速いパス回しやドライブからの足を止めないOffを展開。残り4分、打出が#5のレイアップシュート、スティールからの#12のシュートでチームに勢いがつくが、本丸がシュートを確実に決め、じわじわと差を広げ、36-53で終える。4Qになっても本丸は足が止まらず、速い展開での攻撃を続けて粘る。本丸は1分35秒で選手を全員交代する。打出は前から当たり、最後まで粘るものの、足を止めずに最後まで走り続けた本丸が56-72で勝利した。